富士市 × スイス競泳交流と成果（2018–2025年）

富士市とスイス水泳連盟の交流は、2018年の視察と覚書締結を契機に始まりました。以降、富士市は２度の世界水泳、東京オリンピックを前にしたスイス代表チームの合宿地となり、両者の信頼関係は着実に深まりました。その成果は、国際舞台でのメダル獲得という形で表れ、スイス競泳史に残る快挙にもつながっています。ここでは2018年から2025年までの歩みを振り返ります。

■これまでの歩み

2018年	6月	スイス水泳連盟が富士市を視察。 2019年世界水泳（光州）、2020年東京五輪、2021年世界水泳（福岡）の事前合宿実施で基本合意。
	10月	富士市がスイス連邦の東京五輪ホストタウンに登録。
	11月23日	富士市長がスイスの首都・ベルンを訪問。事前合宿受入れに係る覚書（基本合意書）を締結。
2019年	6～7月	世界水泳選手権（韓国・光州）に向け、富士市で40人超のスイス代表チームが事前合宿を実施。 ジェレミー・デプランシュ選手、男子200m個人メドレーで銀メダル獲得。 ※瀬戸大也選手に僅差で敗れる。
2020年		東京五輪がコロナ禍により延期されたことに伴い、事前合宿も中止。
2021年	7月	ジェレミー・デプランシュ選手、男子200m個人メドレーで銅メダル。 ノエ・ポンティ選手、男子100mバタフライで銅メダル。 ※いずれも1986年以来となるスイス競泳の五輪メダル。
2022年	10月	富士市とスイス水泳連盟、「水泳を通じた交流に関する覚書」を締結。 今後の継続的な交流を確認。
2023年	7月	世界水泳選手権（福岡）に向けた事前合宿を富士市で実施。 ロマン・ミチュコフ選手、男子200m背泳ぎで銅メダル獲得。
2024年	2月	世界水泳選手権（ドーハ）でロマン・ミチュコフ選手が男子200m背泳ぎで銀メダル獲得。
	8月	パリ五輪でロマン・ミチュコフ選手が男子200m背泳ぎで銅メダル獲得。 閉会式ではスイス選手団の旗手を務める。
	12月	世界短水路選手権（ハンガリー）でノエ・ポンティ選手が男子50m・100mバタフライで短水路世界新記録を樹立。
2025年	7月	世界水泳選手権（シンガポール）でノエ・ポンティ選手が男子50m・100mバタフライでいずれも銀メダル獲得。
	10月	「水泳を通じた交流に関する覚書」に基づいた初めての交流事業として、静岡招待スプリント選手権に出場するため、選手が来日し富士市に滞在。

■2025年に来富するスイス水泳連盟の選手

フラビオ・ブッカ
U23欧州選手権
200m背泳ぎ6位

リン・グロブ
ジュニア欧州選手権
平泳ぎ代表

ヴァンナ・ジャコビッチ
U23欧州選手権
400m自由形6位

フレデリック・ホイニエ
ジュニア欧州選手権
4×100mリレー8位